

一般質問

横山 久仁雄

(市民連合)

所信表明に対して

問 これまで市長は「農村観光都市形成」を唱えまちづくりを進め、西達布・東山地区の再生計画の要としてオーガニックアカデミーを誘致。都市と農村の交流・景観資源を生かした観光・経済の活性化・新規就農に期待してきた。いまだ成果はない。今回の「農村観光環境都市形成」とはどのようなイメージか。

答 本市固有の自然環境に支えられた農業・観光・環境の連携・融合により都市と農村の交流を活発化し、新たな企業立地や雇用の場の確保による地域活性化を図る基本姿勢を示すもの。

問 富良野・美瑛地域基本計画策定の現状と内容は。

答 平成21年12月31日で農工法の適用期限が切れ、これに代わる企業立地促進法の支援措置を受けるため、沿線5市町村と美瑛、北海道による「富良野・美瑛地域産業活性化協議会」を設

置。本計画を策定し、国の同意を得た。企業立地の集積業種は食料品製造業を中心とした「地域資源関連」「機械・金属関連」「産業支援関連」「観光関連」の4業種。富良野・美瑛地域の成果目標は新規立地6件、新規雇用143人を目指している。



3年が経過したオーガニックアカデミー

オーガニックアカデミー事業の現状と今後は

問 本事業は3年が経過した。順調な進行か。農村観光環境都市形成とリンクするののか。

答 当初計画どおりに進んでいるとは言えないが、地域の農業者と連携が深まりつつある。農村観光環境都市の一翼を担うものと期待している。

大栗 民江

(公明党)

高齢者の安心を守る環境づくり

問 緊急時医療情報カードの設置推進の取り組みは。

答 一人暮らしの高齢者、約800世帯に設置をスタート。

問 認知症サポーター100万人キヤラバンの現状と対応は。

答 メイト(講師)7名、サポーター61名。体制整備をしている。サポーター養成に取り組む。

印刷物ユニバーサルデザイン化

問 活字文章読上げ装置がなくとも音声コードを音声化できる携帯電話が出る予定。視覚障がい者、外国人等の利用も見込まれ、全額国庫負担の音声コード研修が実施されているが、活用についての見解は。

答 優先度があまり高くないと判断しているが、他市の取り組みを見ながら検討していく。

デジタル教科書の活用は

問 読み書き困難な児童は、国

内全児童の約4〜5%に存在すると言われる。これは、クラスに1人から数人いることになる。文科省検定教科書がデジタル版教科書(通常の教科書と同じテキストと画像を使用し、デジタル化に対応した教科書)として、読み書き困難な児童生徒にも配布対象が拡大された。また、指導教員や在学年より下の学年のデジタル教科書が必要となる場合にも可能となる。デジタル教科書の活用や考え方、家庭との連携は。



読みが困難な子のための教科書

答 デジタル教科書を活用している児童生徒が1名いる。活用方法の検討や保護者との教育相談等を通じて教育環境の充実に努めていく。